

33 良性卵巣腫瘍患者に対する腹腔鏡下手術の施行率

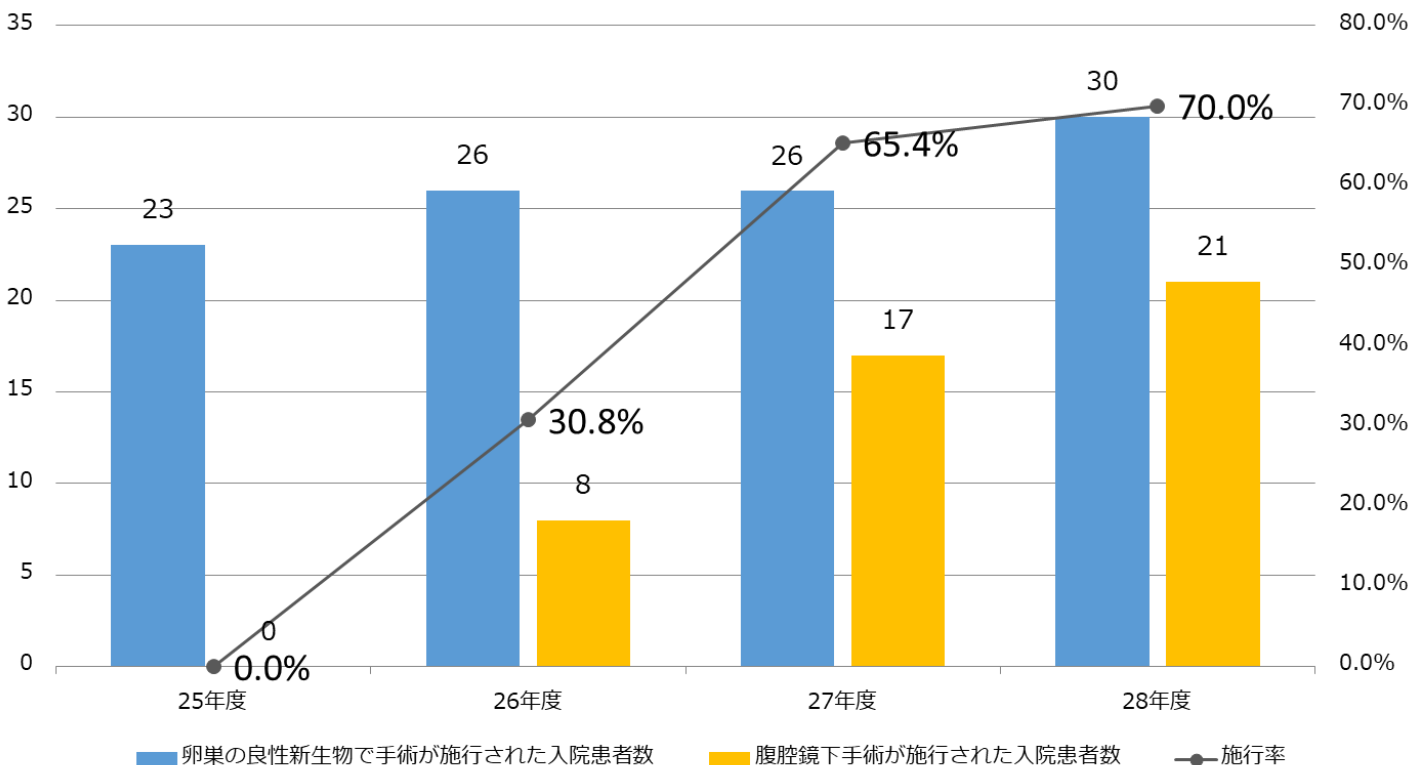
指標の解説

- 腹腔鏡下手術を施行することによって、術後の疼痛コントロール、入院期間の短縮につながる。
- 当該手術の施行率が高いと良性卵巣腫瘍に対する医療の質の向上に貢献していると言える。

分子：腹腔鏡下手術が施行された入院患者数

分母：卵巣の良性新生物で手術が施行された入院患者数

参考値：46.9%
 分子：分母のうち、腹腔鏡下手術を施行した患者数
 分母：卵巣の良性新生物で、卵巣部分切除術（腔式を含む）または子宮附属器腫瘍摘出術を施行された患者数
 （引用元：「国立病院機構 臨床評価指標Ver.3 2016」 2015年平均値）



26年度より良性卵巣腫瘍に対する腹腔鏡下手術を開始。27年度は、当該手術の実施割合が大幅に上昇し、28年度も上昇傾向を維持している。